

～不登校・苦登校を経験した子どもの声から考える

シンポジウム～

生きてることが すごいじゃん!

学校へ行くこと、行かないこと、しんどくても周りの大人を気遣って行くということを選ぶ等、ひとり葛藤し悩む子どもたちと、見守り悩む大人たち。不登校・苦登校の現状を知り、子どもたちを見つめ続ける木村泰子先生と山田勝治先生のお話から、いちばん大切なものはなにかを考えてみませんか？

2025年

3月8日 土

午後1時30分～5時（午後1時開場）

第1部 午後1時30分から
トークセッション

第2部 午後3時45分から

みんなで一緒に話しましょう
質問・意見交換を予定

〈パネリスト〉

大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子



大阪府生まれ。2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。この映画は文科省の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地の教育現場などで自主上映されている。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演活動やセミナーで全国の人たちと学び合っている。

〈ファシリテーター〉

大阪市地域福祉施設協議会事務局長 西野 伸一

〈主催〉 特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会

大阪市西成区社会福祉協議会

大阪市阿倍野区社会福祉協議会

大阪市浪速区社会福祉協議会

場所

西成区民センター
ホール

西成区岸里 1-1-50

参加費

無料

定員

300名（事前申込制・先着順・定員になり次第締切）

申込
問合せ

QRコード・電話にて
お申し込みいただけます
西成区社会福祉協議会

西成区岸里 1-5-20

06-6656-0080



申し込みはこちらから

大阪府立西成高校校長 山田 勝治



厳しい生活環境で暮らす子どもが多数在籍する西成高校が格差と貧困の連鎖を断ち切るために始めた「反貧困学習」をはじめ様々な改革はメディアにも多く取り上げられてきた。2005年から2013年まで西成高校の教頭、校長を務めた後、異動。2017年、同校校長として再赴任（現在に至る）。生徒の生活実態に切り込んで学びやすい環境を整備し、かつて20%近かった中退率を1ケタ台に下げた。おもな著作に『子どもの権利条約』の視点に立ったこれからの生徒指導（『月刊高校教育』、2019年）、『回り道は近道だ』—セカンドチャンスを制度化する（『日本と世界の課題2024』新しいシステムを模索する、2024年公益財団法人NIRA総合研究開発機構編）など。もと日本史の教員。